

令和3年度

事業報告及び貸借対照表

令和4年6月2日

一般財団法人 東海産業技術振興財団

# 事業報告

令和3年4月 1日から

令和4年3月31日まで

昨今の社会情勢は、新型コロナウイルス感染や地球温暖化への対応等、変化のスピードと激しさが一層増しており、これらの社会課題を解決しビジネス化するため、大企業やスタートアップ、大学を始めとする研究機関など、世界中が激しく凌ぎを削っております。

わが国も成長戦略を掲げ、変化の激しい時代への対応に動き出しており、このようななかで、地域の産学官が一体となって新進気鋭の研究者の研究助成を行う本財団の位置づけは、益々重要になってきているものと考えられます。

ただし、このような変化の激しい時代においては、本財団も社会のニーズに応えられるように変革していく必要があります。

今後は、35年にわたる活動で培った本財団の組織力やネットワーク力をフル活用して、事業の一層の充実に取り組み、東海地域のさらなる産業振興と豊かな経済の実現を目指してまいります。

## I 事業の概要

### 1. 研究助成事業

令和3年度（第34回研究助成）においては、次の内容で募集を行いました。

#### (1) 産学官共同研究を対象とする『一般発展型』

次の6分野について募集を行いました。

- ・ 環境関連分野
- ・ 医療福祉技術関連分野
- ・ 材料関連分野
- ・ 電子・情報関連分野
- ・ 生産技術関連分野
- ・ バイオテクノロジー関連分野

#### (2) 40歳以下の若手研究者を対象とする『研究育成型』

次の3分野について募集を行いました。

- ・ 工学を基礎としたグリーンイノベーション（環境・資源・エネルギー・食料生産革新等）
- ・ ライフイノベーション（医療福祉・介護・健康・情報通信技術活用等）
- ・ 情報イノベーション（AI・IoT・ICT技術活用等）

#### (3) 募集期間、応募総数、助成件数等

① 募集期間	令和3年10月1日から11月30日
② 応募総数	59件
・ 一般発展型	31件
・ 研究育成型	28件
③ 助成件数	16件
・ 一般発展型	5件
・ 研究育成型	11件
④ 採択助成総金額	1,920万円

## 2. 産業技術に関する普及啓発事業

令和3年7月に機関誌「TFT ニュース」NO. 64をHP上に掲載しました。この機関誌は、研究助成を完了した報告書等を同HPで公表し、技術等の情報公開・普及啓発に努めています。

## 3. セミナー事業（産学官交流事業）

「東三河ビジネスプランコンテスト」（主催：株式会社サイエンス・クリエイト／東三河ビジネスプランコンテスト委員会）に協賛しました。

## II 理事会・評議員会・選考委員会

### 1. 理事会

- |           |                                      |
|-----------|--------------------------------------|
| ① 第68回理事会 | 新型コロナウイルスの影響により「書面決議」<br>※令和4年5月20日付 |
| ② 第69回理事会 | 令和4年 3月 3日                           |

### 2. 評議員会

- |            |            |
|------------|------------|
| ① 第68回評議員会 | 令和3年 6月 3日 |
| ② 第69回評議員会 | 令和4年 3月18日 |

### 3. 選考委員会

- |               |                                      |
|---------------|--------------------------------------|
| ① 令和3年度第1回幹事会 | 令和3年12月 6日                           |
| ② 令和3年度第2回幹事会 | 令和4年 1月 7日                           |
| ③ 第40回選考委員会   | 新型コロナウイルスの影響により「書面決議」<br>※令和4年2月14日付 |

## III 今後の課題

本報告書の冒頭に記載のとおり、激しい環境変化のなかで、本財団がより大きなパフォーマンスを発揮するための取り組みを強化していく必要があります。

この取り組みの一つとして、令和4年4月12日に開催した「第34回 研究助成金究助成金交付決伝達式」においては、財団の方針や取り組みの発信や採択者、財団関係者の交流の機会となるべく、従来の内容を見直して開催しました。

今後は研究助成の進捗や成果の発信に努めるとともに、研究助成を行った研究者・企業および本財団関係の企業・組織との連携をより強化し、助成研究が社会実装に繋がるための支援を充実してまいります。

# 貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金	87,202,492	56,256,018	30,946,474
前払費用	0	0	0
仮払金	5,833	0	5,833
<b>流動資産合計</b>	87,208,325	56,256,018	30,952,307
<b>2. 固定資産</b>			
<b>(1) 特定資産</b>			
特定投資有価証券	648,657,900	600,802,700	47,855,200
研究助成資金	0	0	0
特定定期預金	100,000,000	200,000,000	△ 100,000,000
<b>特定資産合計</b>	748,657,900	800,802,700	△ 52,144,800
<b>(3) その他固定資産</b>			
電話加入権	72,800	72,800	0
<b>その他固定資産合計</b>	72,800	72,800	0
<b>固定資産合計</b>	748,730,700	800,875,500	△ 52,144,800
<b>資産合計</b>	835,939,025	857,131,518	△ 21,192,493
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払費用	20,454,892	19,668,431	786,461
預り金	38,011	37,908	103
<b>流動負債合計</b>	20,492,903	19,706,339	786,564
<b>2. 固定負債</b>			
<b>固定負債合計</b>	0	0	0
<b>負債合計</b>	20,492,903	19,706,339	786,564
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1. 指定正味財産</b>			
<b>指定正味財産合計</b>	0	0	0
<b>2. 一般正味財産</b>	815,446,122	837,425,179	△ 21,979,057
<b>正味財産合計</b>	815,446,122	837,425,179	△ 21,979,057
<b>負債及び正味財産合計</b>	835,939,025	857,131,518	△ 21,192,493